

遊んで作って食べて! たのしいおすすめレシピ

*** 葉脈標本のしおり ***



7月11日から博物館で「第18回特別展 岡山県の樹木図鑑」が始まりました。先着60名さまにお配りした「葉脈標本のしおり」の作り方です。皆様も色々な葉で、挑戦してみてください。

どんな感じだったかお知らせいただければうれしいです。

- 準備したもの…重曹・ステンレス（またはホーロー・ガラス）・鍋・ガスコンロ・歯ブラシ・板・たらい・はしなど
- 今回用意した葉…カイノキ・ナンテン・アテツマンサク・ヒイラギ・ヒイラギモクセイ・アキニレ・アメリカフウ・ツバキ・イロハモミジなど

- ① 鍋に、水1リットルを沸かし、重曹を100グラム（10%の炭酸ナトリウム水溶液）入れて、溶かす。
- ② 葉を入れて10分以上様子を見ながら葉肉が溶けたら、水を入れたたらいにとる。
- ③ 水洗いして、板の上や水の中で手や歯ブラシなどを使ってきれいに葉肉をとる。
特に、歯ブラシを使用するときは、横にこすらずたたくようにする。
- ④ きれいになった葉脈は、新聞などにおいて乾燥させる。
- ⑤ しおり用にパウチする。



【今回使用した葉】

- ・カイノキ…ブラシでたたいても丈夫で葉脈は扱いやすい。
- ・ナンテン…簡単にはがれる。
- ・マンサク…水の中で、もむようにして葉肉をはがす。
- ・ヒイラギ…やさしくこする。
- ・ヒイラギモクセイ…ブラシでこする。葉脈は強い。
- ・アキニレ、ツバキ、イロハモミジ…葉脈が弱いかどろどろになる。
- ・アメリカフウ…葉脈が黒くなってしまう。

注意：

お子様は大人の指導のもとで行ってください。

- ・炭酸ナトリウムを煮るときの鍋は、ステンレス・ホーロー・ガラスを使う。
- ・炭酸ナトリウムを棄てる時は、酢を混ぜて、中和させてから捨てる。
- ・炭酸ナトリウムは、目や皮膚、衣類にはつけない。ついたときはしっかり水洗いしてください。

(松村真佐子 友の会幹事)